

記入例

CCM-02-A 様式2

保証継続申請書
(サブセット評価申請書) 1

2000年00月00日

独立行政法人情報処理推進機構
理事長 齊藤 裕 殿

提出日

社印または申請者の名称が入った役職印
を必ず押印してください。

住所 東京都〇〇区〇〇三丁目2番1号
申請者の名称 〇〇株式会社
所属、役職 情報セキュリティ技術部 課長
申請責任者 責任 太郎

〇 株 社
〇 式 之
印 会 印
課 長
責 任 郎

「ITセキュリティ認証等に関する要求事項」を参照
します。

記名の上申請責任者の印または役職印を必ず
押印するか署名してください。

| | | |
|---------------------------------------|---|--|
| 認証識別 | JISEC-C〇〇〇〇 | |
| 認証TOEの名称 及びバージョン | 情報漏えい防止セキュリティプラットフォーム バージョン V1.20 | |
| 変更TOEの名称 及びバージョン | 情報漏えい防止セキュリティプラットフォーム バージョン V1.21 | |
| 変更の概要 | (別紙添付も可) 別紙参照のこと。 | |
| サブセット評価 ² □あり ■なし | サブセット評価 実施の保証要件 | |
| | 評価機関名 責任者名 (Tel、E-mail) | |
| 申請担当者名 所属 住所(〒) (Tel、E-mail) | 申請 次郎 情報セキュリティ技術部 〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇三丁目2番1号 TEL:〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 / Email: shinsei-jiro@〇〇.jp | |

本申請の窓口となる担当者の情報を記入

- 申請手数料請求書の早期発行を希望します。³

¹ 影響分析報告書作成ガイダンスを参照のうえ、影響分析報告書、保証継続適用のためのチェックリストを作成し、申請書とともに提出してください。

² サブセット評価：認証維持が可能な場合で、開発環境の保証手段の変更が含まれている場合に、評価機関が影響のある保証コンポーネントのみを評価すること。認証機関が事前レビューの結果、判定します。

³ 手数料納入確認後に認証書が発行されるため、認証書発行を急ぐ場合は本項にチェック願います。

処理に使用しますので、本フッターを削除しないでください。

(認証機関記入欄) 受付番号

(2023-04)